



2019年5月7日

各位

会社名 HOYA株式会社
代表者名 代表執行役CEO 鈴木 洋
(コード番号 7741 東証第一部)
問合せ先 コーポレート企画室
IR担当 TEL03-6911-4825
広報担当 TEL03-6911-4824

2019年3月期 個別業績の差異に関するお知らせ

当社は、当事業年度の個別業績において、前事業年度の実績値との差異が開示基準に達することとなりましたのでお知らせいたします。当社はこれまで当該期間に係る個別業績の予想を公表しておりませんので、対比につきましては前事業年度の実績値と比較しております。

なお、本日、当社は「2019年3月期 決算短信[IFRS](連結)」を開示致しました。

記

1. 2019年3月期(通期)個別業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

前事業年度の実績値との比較

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------|--------|---------|---------|----------------|
| 前事業年度実績(A) (2018年3月期) | 182,385 | 23,947 | 146,987 | 127,735 | 円 銭 331.83 |
| 当事業年度実績(B) (2019年3月期) | 191,861 | 30,520 | 80,119 | 63,264 | 166.60 |
| 差異額 (B-A) | 9,475 | 6,574 | △66,868 | △64,471 | △165.23 |
| 差異率 (%) | 5.2 | 27.5 | △45.5 | △50.5 | — |

(注) 当社は連結決算に関しては2011年3月期から国際会計基準(IFRS)に準拠して開示しておりますが、個別業績につきましては有価証券報告書等において日本基準で公表しております。

2. 差異の理由

当事業年度の個別業績においては、主に半導体用マスクブランクスが好調に推移したことにより営業利益が増加しましたが、関係会社からの受取配当金が減少したことで、経常利益と当期純利益が前事業年度より減少しました。

以上